



No. 8
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第5回

一般国道2号
こうべにし
神戸西バイパス

【再評価】

令和3年12月
近畿地方整備局
西日本高速道路株式会社

目次

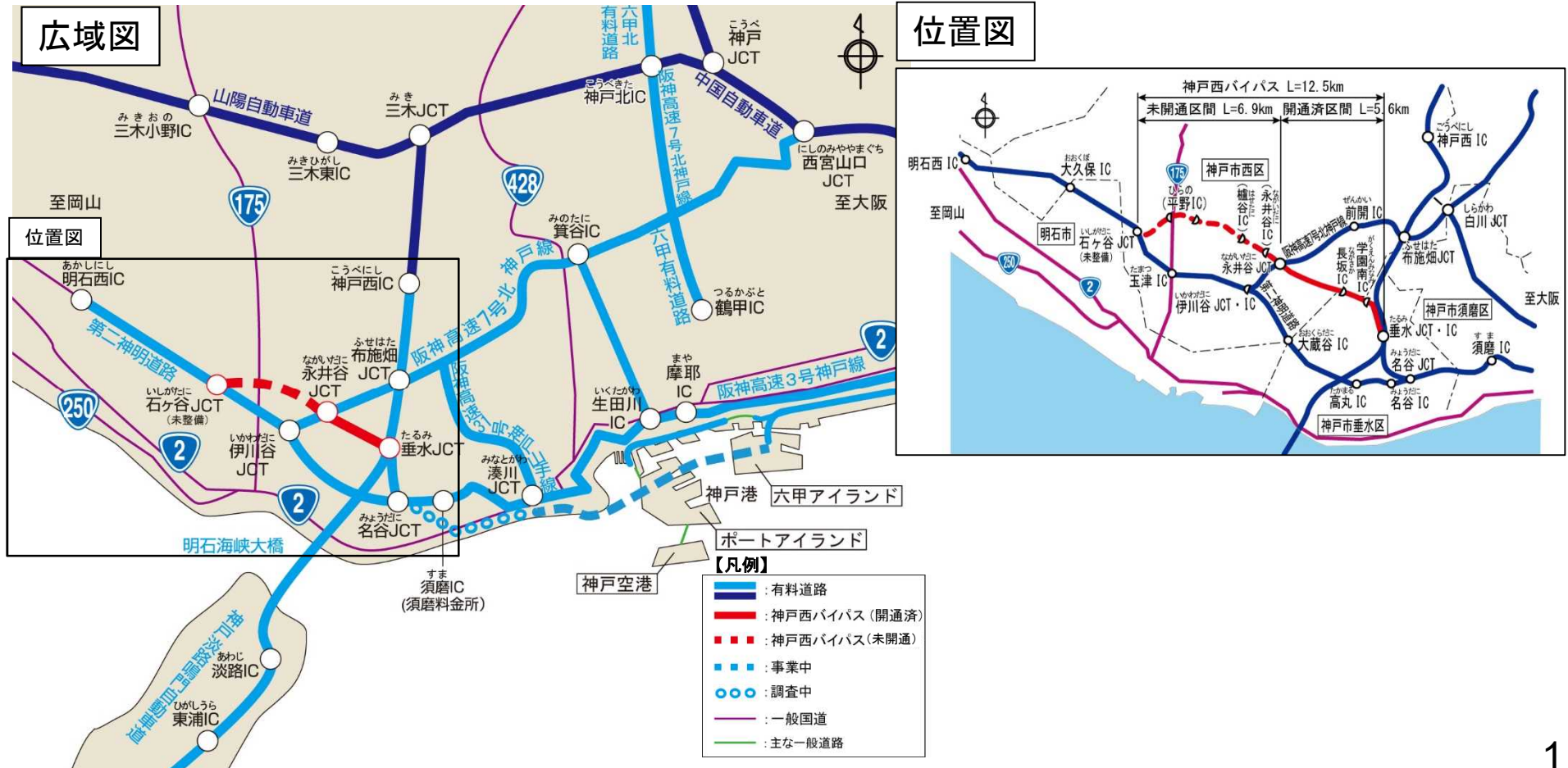
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業費の見直し
4. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
5. 事業進捗の見込みの視点
6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道2号 神戸西バイパス

神戸西バイパスは、神戸市垂水区から明石市を結ぶ延長約12.5kmの高規格道路であり、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路のバイパスとして計画された道路である。

第二神明道路と東西の広域交通を分担し、日常生活や経済活動を支える重要な路線であり、神戸淡路鳴門自動車道へのアクセス道路としても機能。



2. 事業の概要

一般国道2号 神戸西バイパス

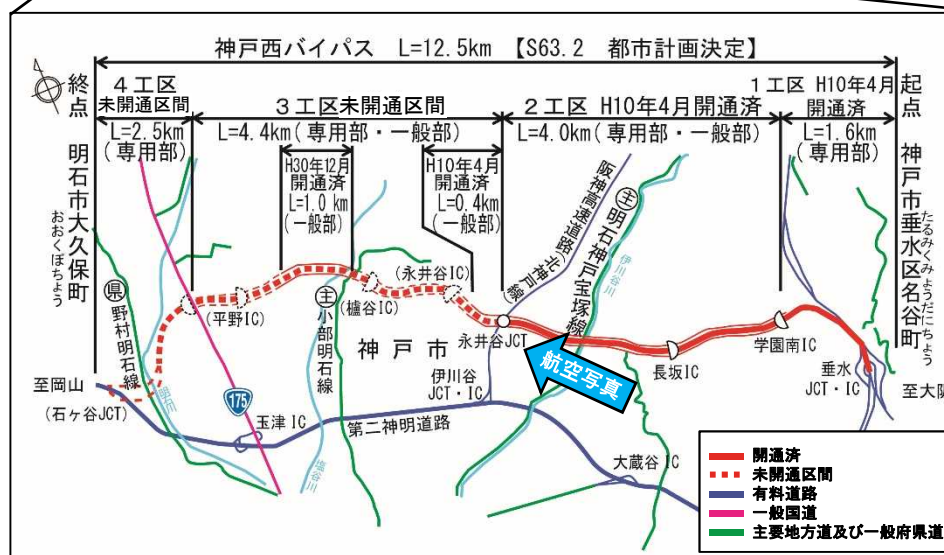
事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 物流の効率化支援

計画の概要・進捗状況

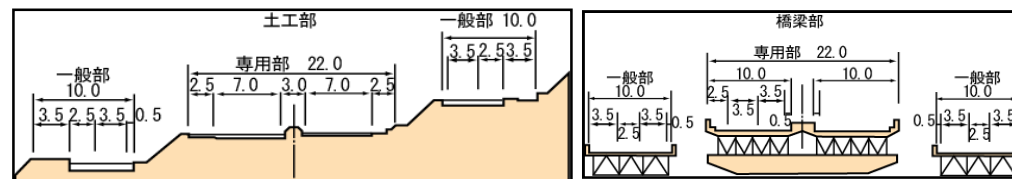
区 間	たるみ みょうだにちよう (起)兵庫県神戸市垂水区名谷町 おおくぼちよう (終)兵庫県明石市大久保町
道路延長	専用部: 12.5km、一般部: 8.4km
構造規格	専用部: 第1種第3級、一般部: 第3種第2級
設計速度	専用部: 80km/h、一般部: 60km/h
車線数	専用部: 4車線、一般部: 2車線
標準幅員	W=22m~42m(うち専用部22m)
計画交通量	29,200台/日
全体事業費	2,250億円
事業化	昭和63年度
都市計画決定	昭和63年2月
用地着手	平成元年度
工事着手	平成3年度
供用延長	専用部: 5.6km、一般部: 5.4km
事業進捗率	約75% (令和3年3月末現在) 約64% (再評価後の事業費に対する進捗率)
用地取得率	約90% (面積ベース、同上)

位置図



標準横断面図

【単位:m】



3. 事業費の見直し

■ 全体事業費の見直し

- 事業進捗に伴い、現地条件(地質条件等)を確認したことで橋梁形式や法面対策工等の見直し・追加が発生したことなどにより約350億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体では約350億円の増額が発生。(1900億円 ⇒ 2250億円)

■ 事業費増加の要因

- ①地質調査結果や基準改定に伴い、橋梁基礎形状や構造物規模の変更、法面対策工の追加等が必要となった。
- ②安全性や沿道環境向上のため、剥落防止対策・騒音対策が必要となった。
- ③教育委員会と協議の結果、公表資料から想定していた範囲より広い範囲で埋蔵文化財調査が必要となった。

■ コスト縮減の取組

- ④事業費増加にあたり、コスト縮減策を検討した結果、街渠工等を現場打ちからプレキャスト製品に見直したことにより約0.2億円のコスト縮減を図る。

単位：億円

No.	主な変更理由	増額	減額	備考
①	現地条件等を踏まえた橋梁形式の見直し等	+305.0		【参考】内訳①～②参照
②	安全性・沿道環境の向上に向けた対策の追加	+35.0		
③	埋蔵文化財調査範囲の追加	+10.2		
④	プレキャスト製品の採用		-0.2	
合 計		350.0		

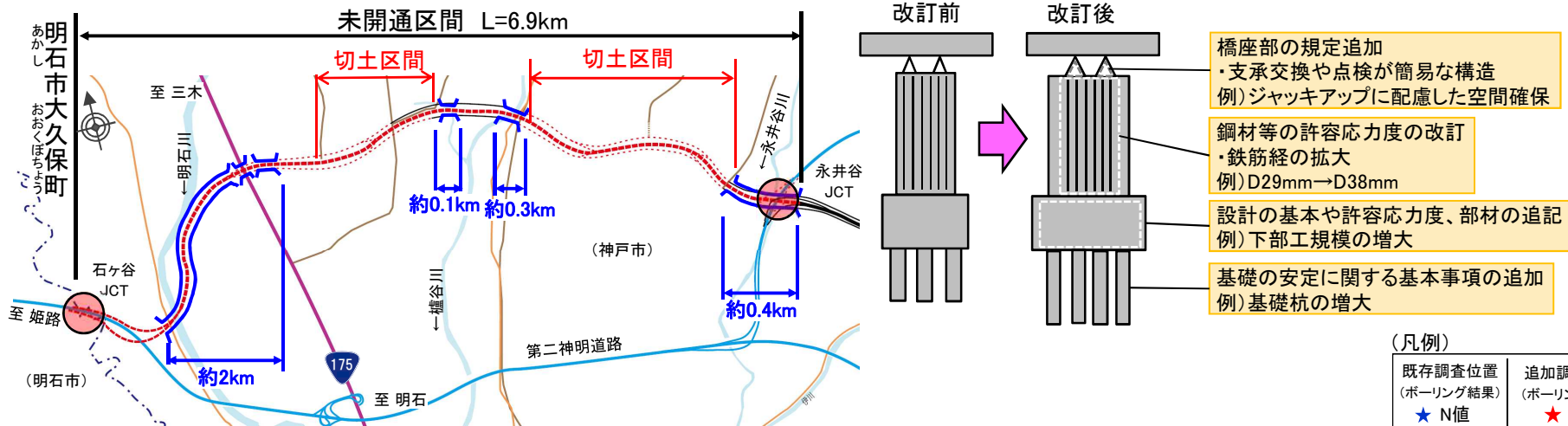
3. 事業費の見直し

一般国道2号 神戸西バイパス

① 現地条件等を踏まえた橋梁形式の見直し等 (+305.0億円)

- 東北地方太平洋沖地震(H23)による設計地震動の見直し等を踏まえた最新の道路橋示方書に基づき修正設計を行い、構造規模の見直しが生じた。
- 詳細設計時における追加地質調査の結果、支持地盤線が想定より深い位置に存在することが判明し、橋梁基礎形式の見直しが生じた。他、切り土区間の法面対策工の追加等。

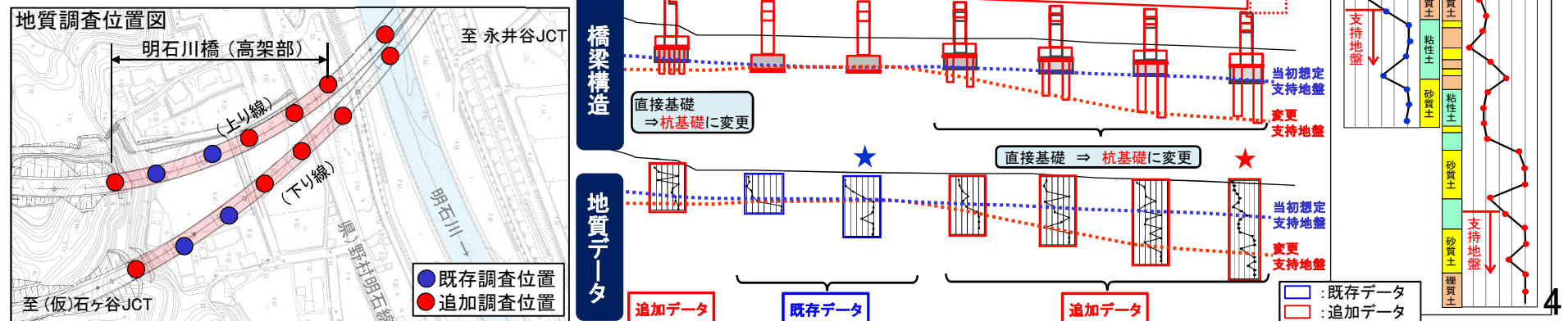
1) 道路橋示方書改訂を踏まえた構造規模の見直し及び法面対策工の追加



2) 橋脚位置での地質調査を踏まえた橋梁基礎形式の見直し

・当初、既存地質データを基に現地盤高に沿うように支持地盤線を想定。

例) 明石川橋(高架部)



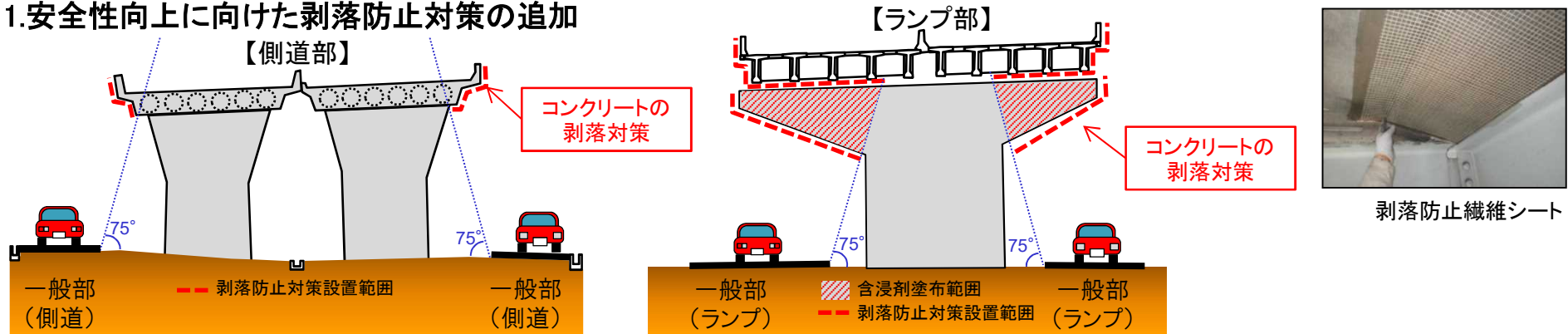
3. 事業費の見直し

一般国道2号 神戸西バイパス

②安全性・沿道環境の向上に向けた対策の追加 (+35.0億円)

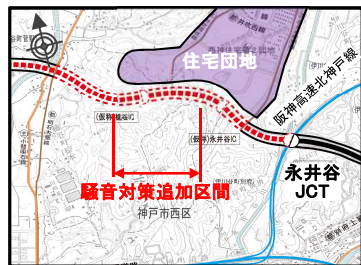
- 最新の基準に基づき詳細設計を見直したところ、第三者被害を防止するために、コンクリート剥落対策を実施する必要が生じた。
- 事業地周辺で新たに宅地開発が進んだことを受け、騒音予測結果が保全目標を超過する箇所については、遮音壁及び排水性舗装を実施する必要が生じた。

1.安全性向上に向けた剥落防止対策の追加



2.沿道環境向上に向けた騒音対策の追加

■位置図



【開発前】

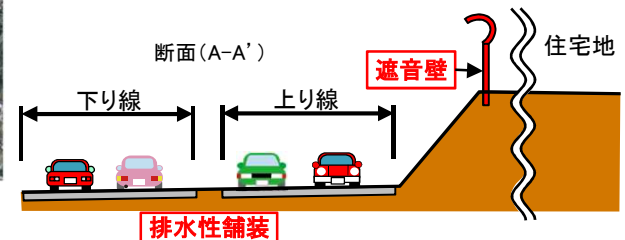


【開発後(平成28年5月)】



■騒音予測結果

西神地区	保全目標	騒音予測結果 (無対策)
昼間	60dB	63dB
夜間	55dB	58dB



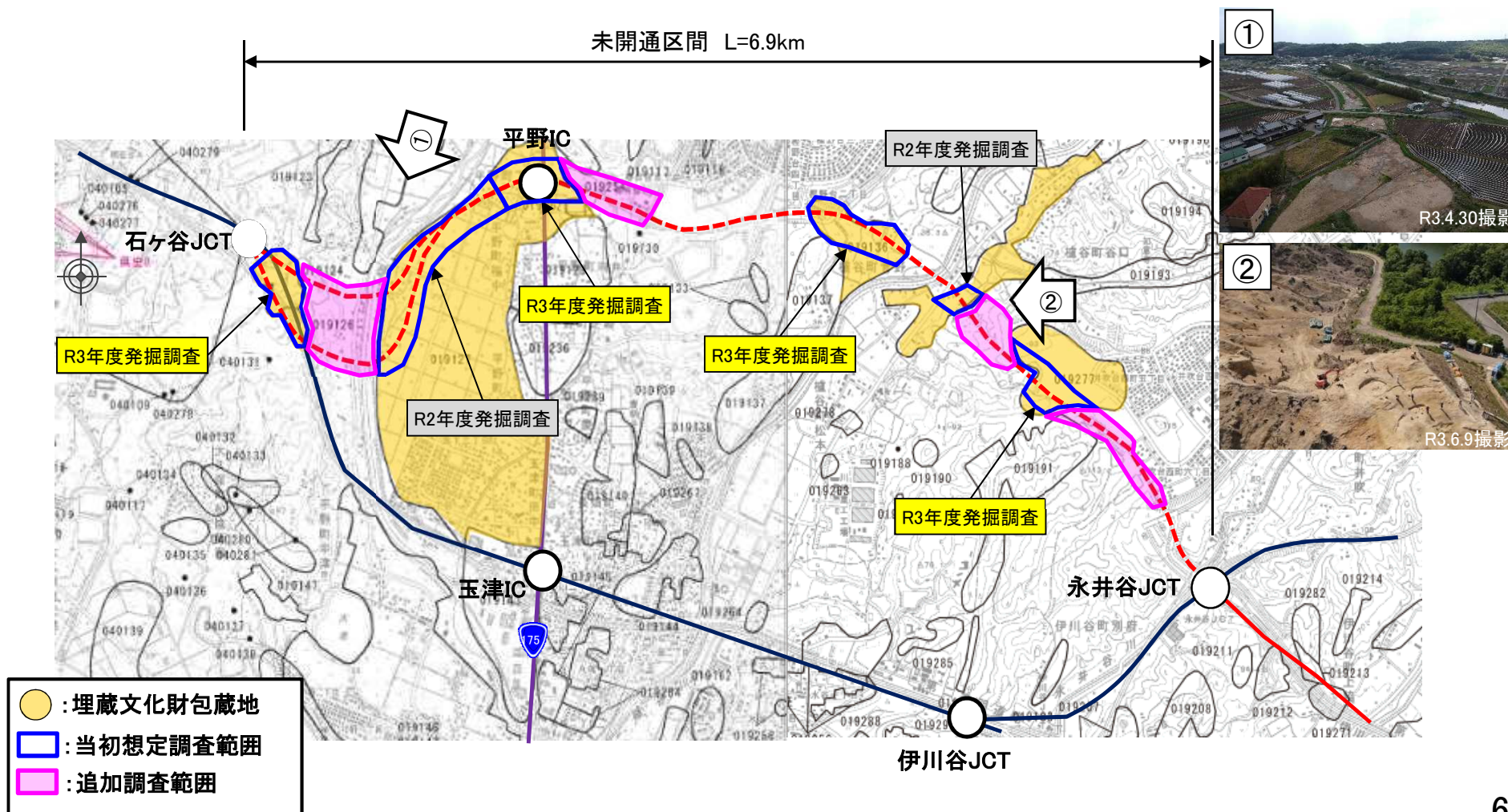
新たに宅地開発が進んだ地区については、騒音予測の結果、騒音対策として遮音壁の設置+排水性舗装を実施

3. 事業費の見直し

一般国道2号 神戸西バイパス

③埋蔵文化財調査範囲の追加に伴う増加 (+10.2億円)

- 当初、埋蔵文化財包蔵地(兵庫県公表)をもとに埋蔵文化財調査範囲を想定し事業費を算出していた。
- 兵庫県教育委員会による包蔵地外の試掘の結果、当初想定していた調査範囲の近隣の箇所においても追加で調査をする必要が生じた。



3.【参考】事業費の見直しの経緯

一般国道2号 神戸西バイパス

年度	①現地条件等を踏まえた 橋梁形式の見直し	②安全性・沿道環境の向上に 向けた対策の追加	③埋蔵文化財調査範囲の追加
当初想定	<ul style="list-style-type: none"> 概略の設計であり、既存の地質調査データを元に支持地盤線を想定し橋梁設計をしていた。 H14の道路橋示方書でH17～H21頃に設計を行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業地周辺での開発は進んでいない状況であった。 はく落防止対策について基準が定められていなかった。 	文献資料「兵庫県遺跡地図」(兵庫県公表)から埋蔵文化財発掘調査の範囲を想定していた。
H28	事業再評価(全体事業費 1,900億円)		
H29	H30.3公共事業と有料事業の合併施工方式の導入(永井谷JCT～石ヶ谷JCT)		
H30	一般部 L=1.0km(県道明石木見線～市道西神2号線) 開通H30.12		
R1	<ul style="list-style-type: none"> 追加地質調査が可能になり、当初想定していたよりも支持地盤が低いことが判明 		
R2	<p>橋梁詳細設計が完了</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細設計において、直接基礎から杭基礎へ変更が生じた。 道路橋示方書改訂に伴い、設計を見直すことにより、部材の変更など工事費の増額が生じた。 他、切り土区間の法面対策工の追加等含め <p>305.0億円の増額が確定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業地周辺で新たに宅地開発が進み、騒音対策実施の必要が生じた。 基準改定(H28)に伴い、側道部、ランプ部および立体交差点において、コンクリート剥落防止対策の必要が生じた。 <p>35.0億円の増額が確定</p>	
R3			<p>隣接箇所の追加調査を実施</p> <p>工事着手時に実施された試掘調査の結果、新たな遺跡が確認されたため、埋蔵文化財発掘調査範囲が拡大した。</p> <p>10.2億円の増額が確定</p>
	事業再評価 (全体事業費 2,250億円(+350億円) B/C 1.1)		

4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

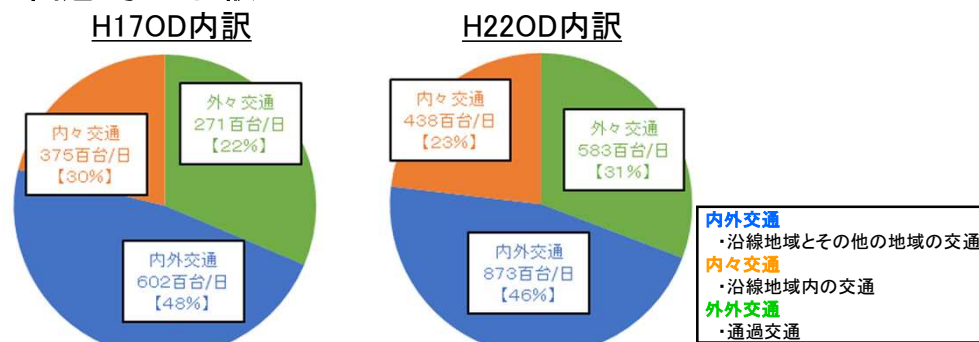
※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。
- 国道2号を利用する交通特性は、内々交通が23%、内外交通が46%と周辺地域を発着地とする割合が約7割を占めており、概ね変化はない。

■ 位置図

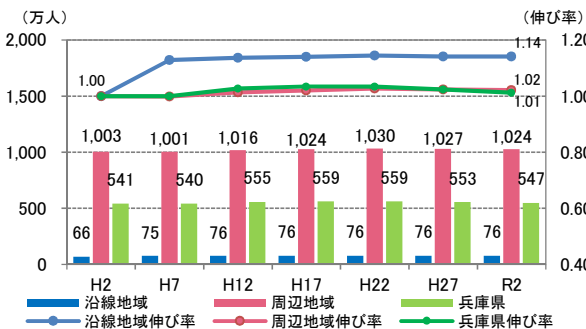


■ 国道2号OD内訳



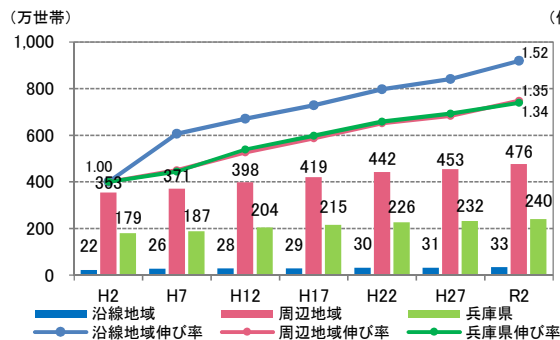
※沿線地域：神戸市
 ※前回評価時(H28)は平成17年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
 ※今回評価時(R3)は平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
 ※平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出

■ 人口の推移

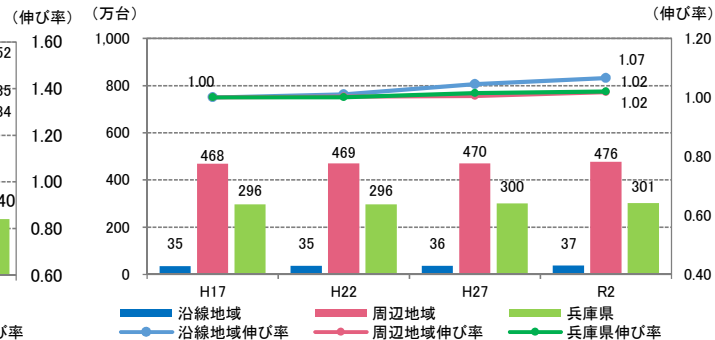


※沿線地域：神戸市垂水区、神戸市西区、明石市
 周辺地域：神戸西BP未開通区間に並行する国道2号(第二神明道路)の中心地から中央値のトリップ長44kmの範囲円に含まれる45市町村

■ 世帯数の推移



■ 自動車保有台数の推移



出典) 人口・世帯数：国勢調査、自動車保有台数は兵庫県統計書、大阪府統計年鑑、和歌山県統計年鑑

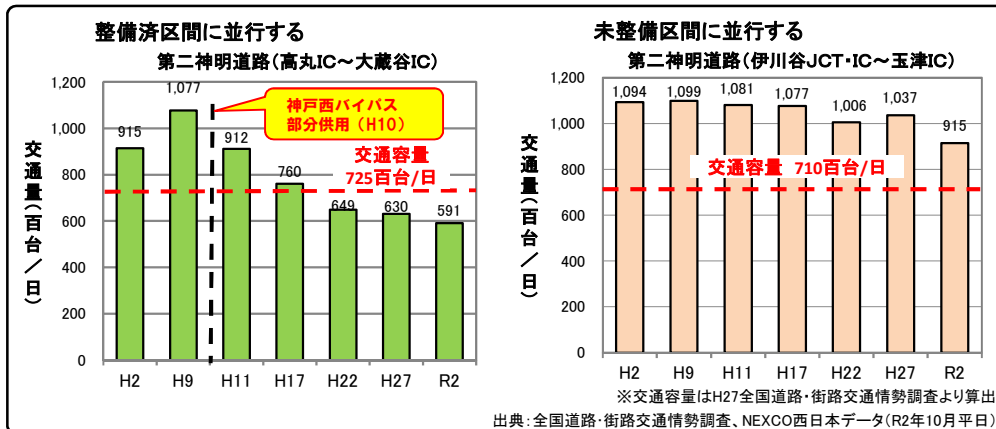
4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

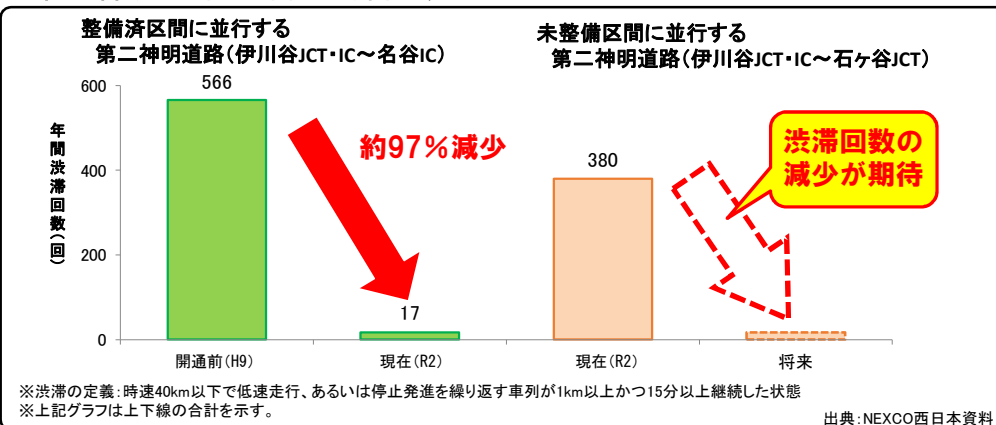
※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 神戸西バイパス整備済区間と並行する第二神明道路では部分供用(H10)により交通混雑が緩和され、渋滞回数が大幅に減少。
- 一方、未整備区間と並行する第二神明道路では交通容量を超過した交通が発生しており、年間で380回の渋滞(令和2年)が発生。
- 神戸西バイパスの整備により、第二神明道路の渋滞回数が減少し、走行性の向上に期待。

■第二神明道路の交通量の変化



■第二神明道路の年間渋滞回数



写真①: 玉津IC付近~伊川谷IC間(姫路方面)

撮影日: 令和3年8月4日(水)7時台



写真②: 伊川谷IC~大蔵谷IC間(姫路方面)

撮影日: 令和3年8月4日(水)7時台

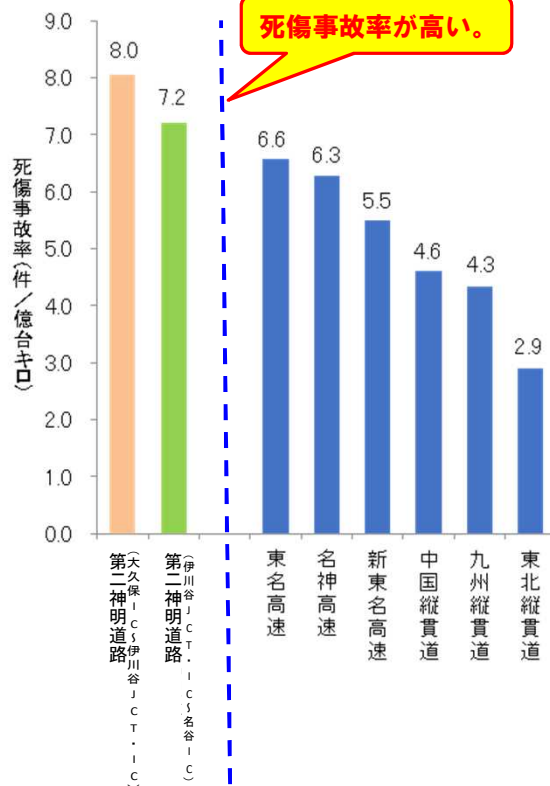
4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 神戸西バイパス未整備区間と並行する第二神明道路は、整備済区間に並行する第二神明道路と比べ死傷事故率が高く、交通混雑に起因すると考えられる追突事故が約8割を占め、交通安全面に課題。
- 神戸西バイパスの整備により、第二神明道路の交通混雑が緩和され、事故の減少が期待される。また、第二神明道路が通行止め時の迂回路として寄与することにも期待される。

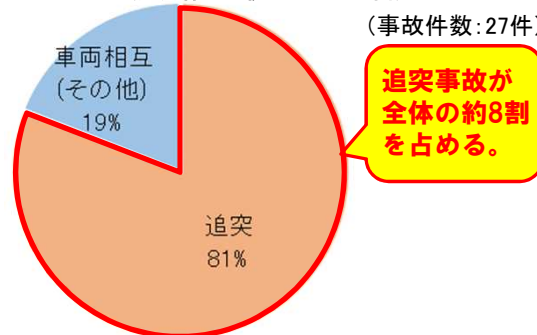
自動車専用道路の死傷事故率(R元年)



※神戸西バイパス(専用部)の令和元年の死傷事故件数は0件
 ※第二神明の死傷事故率はH27全国道路・街路交通情勢調査を用いて算出
 出典: 交通統計
 第二神明道路と神戸西BPIは兵庫県警の資料を元に集計

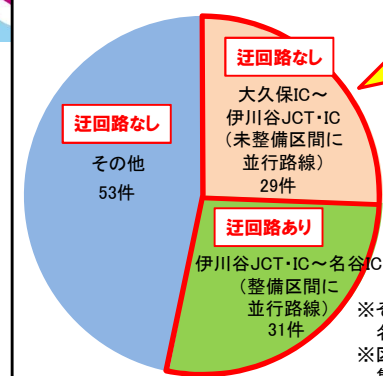


未整備区間と並行する第二神明道路の事故分類(R元年) (大久保IC~伊川谷JCT・IC間)



※整備済区間と並行する第二神明道路では、全体の約73%が追突事故
 出典: 兵庫県警

第二神明道路の通行止め回数(H17~R2)



※その他: 明石西-大久保間と名谷-月見山間を集計
 ※区間を跨ぐ場合は各区間に集計

出典: NEXCO西日本資料

4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

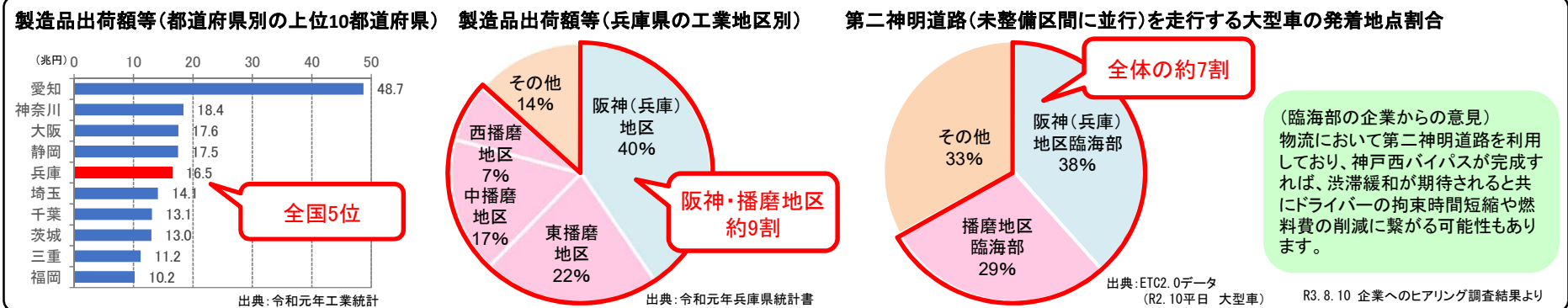
※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

2) 事業の整備効果(物流の効率化支援)【B/C上算出における3便益以外の整備効果】

- 兵庫県の製造品出荷額等は全国5位と高く、その約9割が阪神・播磨地区から出荷。
- 阪神・播磨地区には、臨海部に出荷額が高いエリアが集中し、第二神明道路を走行する大型車の発着地は、阪神(兵庫)地区と播磨地区の臨海部で約7割を占める。
- 神戸西バイパスの整備により、東西方向の物流の効率化が期待される。



図上のメッシュ単位は1kmであり、そのエリアの製造品出荷額等分布を示す。
※製造品出荷額等分布:平成22年工業統計(一般財団法人経済産業調査会)



(臨海部の企業からの意見)
物流において第二神明道路を利用して、神戸西バイパスが完成すれば、渋滞緩和が期待されると共にドライバーの拘束時間短縮や燃料費の削減に繋がる可能性があります。

4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

3) 事業の投資効果

■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	4,260億円	315億円	53億円	4,628億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	3,967億円		244億円	4,210億円	

■ 算出条件等

基準年 : 令和3年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 令和12年度
 推計に用いた資料 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
 事業費 : 2250億円
 維持管理費 : 109百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	2,505億円	171億円	27億円	2,703億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	635億円		147億円	782億円	

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
- ※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
- ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している
- ※4 推計に用いるOD表は現時点で最新の平成22年度全国道路・街路交通情勢調査を使用している
- ※5 参考: 前回評価資料 <https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/ippan/zigyohyoka/ol9a8v000000cg01-att/14.pdf>

4. 事業の必要性等に関する視点 一般国道2号 神戸西バイパス

4) 地域における計画等

■ 地域における計画

神戸西バイパスは、下記の計画に位置付けられています。

- ◆ ひょうご21世紀交通ビジョン(兵庫県:平成7年10月)
広域幹線道路網の中期に位置付けて記載
- ◆ 神戸都市計画区域マスタープラン変更素案(神戸市:令和2年7月)
「都市交通に関する都市施設等の整備目標」に記載
- ◆ 神戸2025ビジョン(神戸市:令和3年4月)
道路ネットワークの充実に関連して記載
- ◆ 神戸市都市計画マスタープラン(神戸市:平成23年3月)
「総合交通ネットワーク形成」の主要幹線道路ネットワークの形成において、広域圏幹線道路として位置づけ
- ◆ 21世紀兵庫県長期ビジョン-2040年への協働戦略(兵庫県:平成23年12月)
県土の広域交流・物流を支える基幹道路や公共交通などの基盤整備に位置付けて記載

■ 要望経緯

- ◆ 神戸市が、「令和4年度国家予算に対する提案・要望」で神戸西バイパスの事業促進を要望
(最近の動向)
令和3年7月 神戸西バイパスの整備促進を要望
- (過去の動向)
令和2年7月、令和元年7月、平成30年7月、平成29年7月

5. 事業進捗の見込みの視点

一般国道2号 神戸西バイパス

1) 事業の進捗状況

令和3年度事業内容

・現在、用地取得、調査・設計・工事を実施しています。

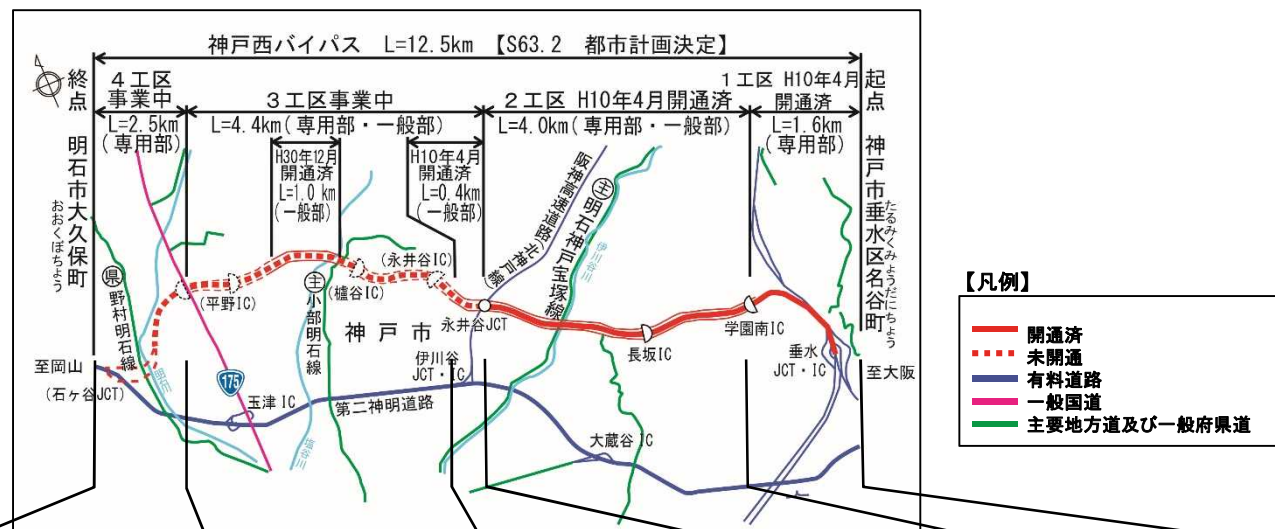
進捗状況

・令和3年3月末までの進捗は、用地進捗率90%(面積ベース)、事業進捗率約75%(事業費ベース)。

2) 今後の事業スケジュール等

・令和3年度までに、専用部12.5kmのうち5.6km、一般部8.4kmのうち5.4kmを供用済み

・残る区間(専用部6.9km、一般部3.0km)について事業を推進し、早期の開通を目指す。



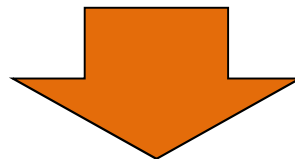
区間		未開通区間			開通済区間	
用地		約90%				
		用地推進	用地推進		用地取得済	
工事	専用部	調査・設計推進	調査・設計・工事推進		H10.4.5開通(4車線・専用部)	
	一般部				H10.4.5開通(2車線・一般部)	

※用地進捗率は、令和3年3月末の面積ベース

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

一般国道2号
神戸西バイパス

神戸西バイパスの計画は、現時点においても、第二神明道路や国道2号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、物流の効率化支援等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺的环境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

■神戸市長

一般国道2号神戸西バイパスは、交通混雑が著しい神戸市西部地域や、第二神明道路で慢性的に発生している渋滞の緩和に繋がり、緊急時、災害時の迂回路としての機能を果たすと共に、播磨から神戸・大阪までのネットワークが構築されることによる、物流機能の強化、観光周遊の促進、市民生活の向上などに資する効果の高い事業です。

平成30年3月には、神戸西バイパスの自動車専用部に西日本高速道路株式会社による有料道路事業が導入され、早期整備のための事業スキームが整いました。神戸西バイパスの早期完成・整備効果の早期発現に向けて、引き続き有料道路制度を活用しながら事業を継続することが必要と考えます。

8. 対応方針(原案)

一般国道2号 神戸西バイパス

神戸西バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みに関する視点から継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続

【参考】(内訳)事業費の見直し

一般国道2号 神戸西バイパス

■ 全体事業費の見直し

- 事業進捗に伴い、現地条件(地質条件等)を確認したことで橋梁形式や法面対策工等の見直し・追加が発生したことなどにより約350億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体では約350億円の増額が発生。(1900億円 ⇒ 2250億円)

■ 事業費増加の要因

- ①地質調査結果や基準改定に伴い、橋梁基礎形状や構造物規模の変更が必要となった。
- ②地質調査の結果、法面対策工の追加や地盤改良工等が必要となった。
- ③安全性や沿道環境向上のため、剥落防止対策・騒音対策が必要となった。
- ④教育委員会と協議の結果、公表資料から想定していた範囲より広い範囲で埋蔵文化財調査が必要となった。

■ コスト縮減の取組

- ⑤事業費増加にあたり、コスト縮減策を検討した結果、街渠工等を現場打ちからプレキャスト製品に見直したことにより約0.2億円のコスト縮減を図る。

単位：億円

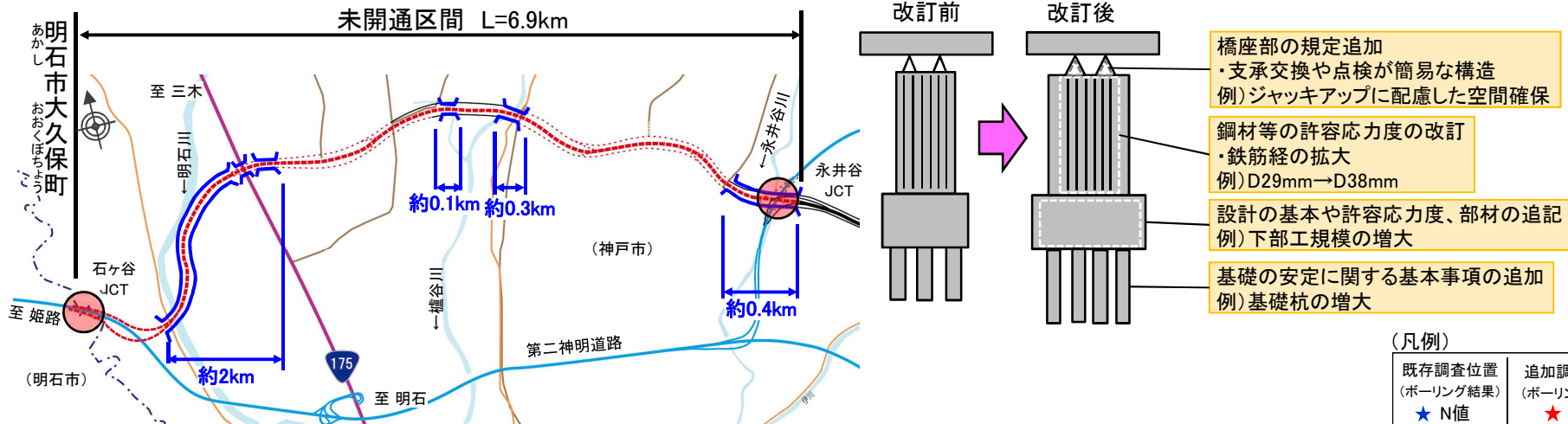
No.	主な変更理由	増額	減額	備考
内訳①	現地条件等を踏まえた橋梁形式の見直し	+190.0		
内訳②	現地条件等を踏まえた追加対策・工法変更	+115.0		
内訳③	安全性・沿道環境の向上に向けた対策の追加	+35.0		
内訳④	埋蔵文化財調査範囲の追加	+10.2		
内訳⑤	プレキャスト製品の採用		-0.2	
合 計		350.0		

【参考】(内訳①) 事業費の見直し 一般国道2号 神戸西バイパス

① 現地条件等を踏まえた橋梁形式の見直し (+190.0億円)

- 東北地方太平洋沖地震(H23)による設計地震動の見直し等を踏まえた最新の道路橋示方書に基づき修正設計を行い、構造規模の見直しが生じた。
- 詳細設計時における追加地質調査の結果、支持地盤線が想定より深い位置に存在することが判明し、橋梁基礎形式の見直しが生じた。

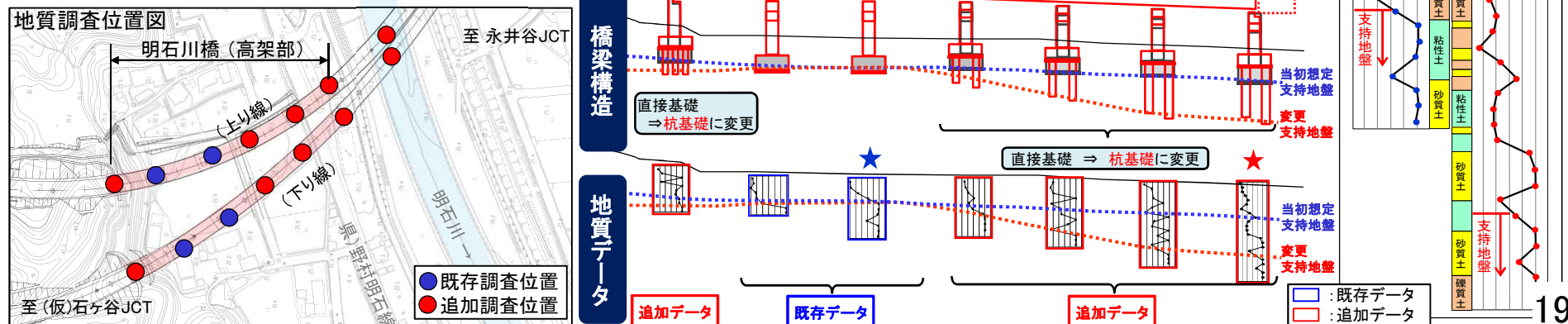
1) 道路橋示方書改訂を踏まえた構造規模の見直し



2) 橋脚位置での地質調査を踏まえた橋梁基礎形式の見直し

・当初、既存地質データを基に現地盤高に沿うように支持地盤線を想定。

例) 明石川橋(高架部)

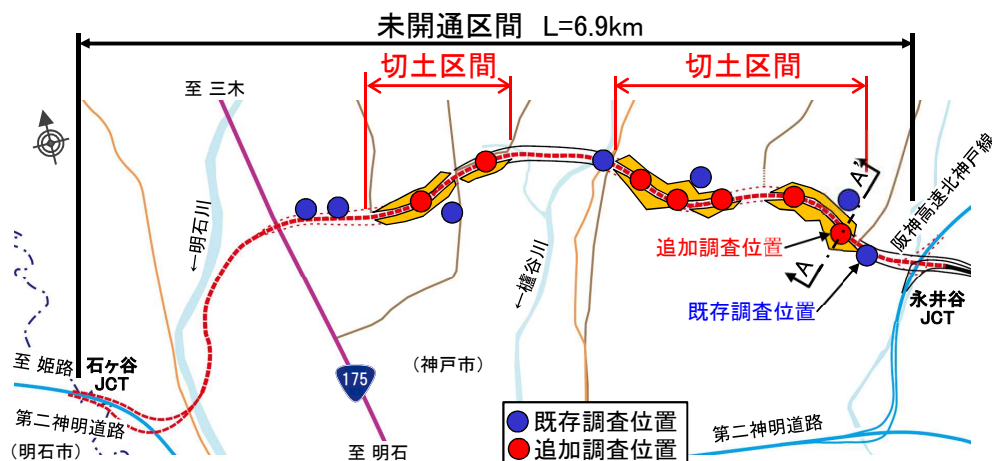


【参考】(内訳②) 事業費の見直し 一般国道2号 神戸西バイパス

② 現地条件等を踏まえた追加対策 (+115.0億円)

- 詳細設計における追加地質調査の結果、当初想定した地質と異なっていた(礫質土⇒砂質土)ため、切土区間において法面対策工を追加する必要性が生じた。
- 第二神明道路下の横断ボックス施工について、追加地質調査の結果、当初想定よりも支持地盤が低く、また、地下水位も浅いため液状化の可能性があることから地盤改良を追加する必要性が生じた。

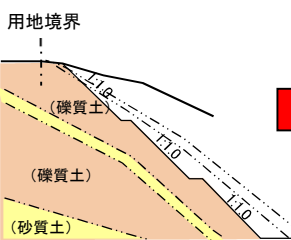
1) 追加調査位置を踏まえた法面対策工の追加



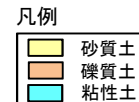
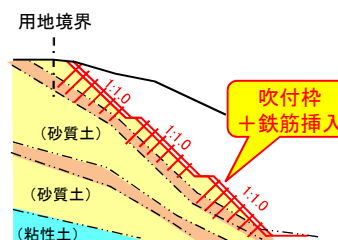
【既存調査結果】(平成5年調査) 【追加調査結果】(平成29年調査)



当初断面(A-A')

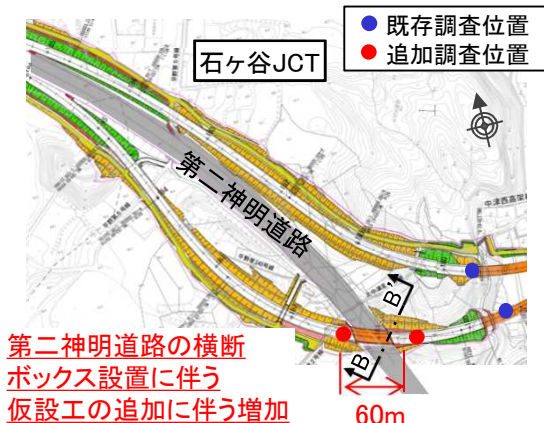


変更断面(A-A')

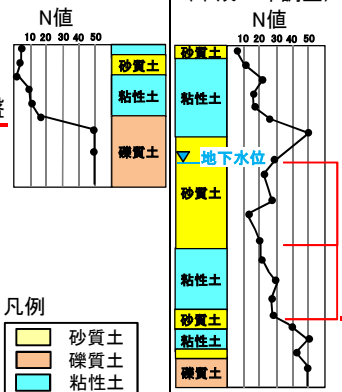


- 当初、近隣の既存ボーリングから切土法面勾配を1:1.0(法面対策工なし)を想定していた。
- 追加ボーリングの結果、想定より地質が悪く法面対策工の必要性が生じた。

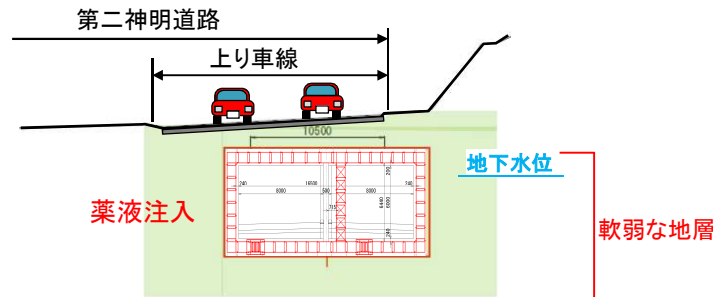
2) 追加調査位置を踏まえた工法の追加



【既存調査結果】(平成5年調査) 【追加調査結果】(平成29年調査)



断面(B-B')



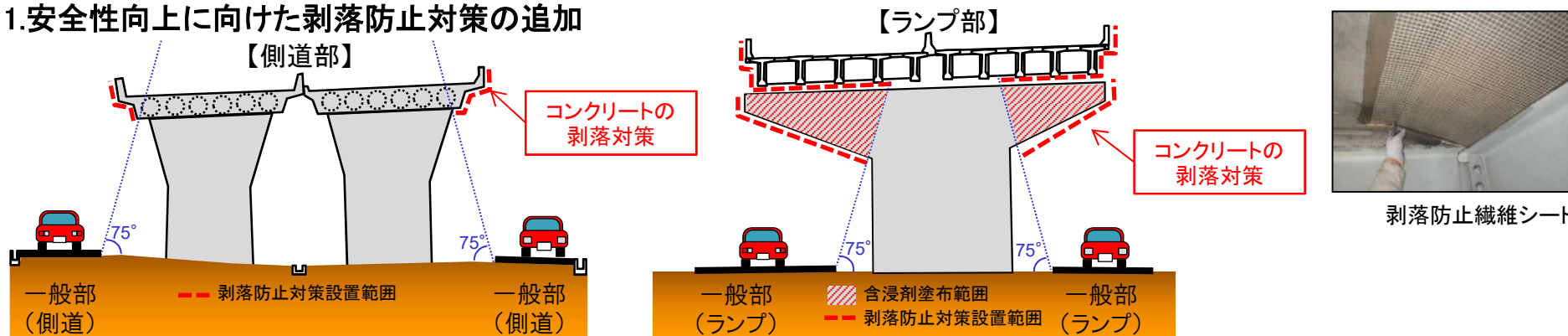
- 当初、近隣の既存ボーリングから地質を想定していた。
- 追加ボーリングの結果、液状化対策として薬液注入の追加が必要となった。

【参考】(内訳③)事業費の見直し 一般国道2号 神戸西バイパス

③安全性・沿道環境の向上に向けた対策の追加 (+35.0億円)

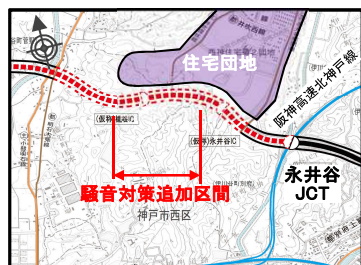
- 最新の基準に基づき詳細設計を見直したところ、第三者被害を防止するために、コンクリート剥落対策を実施する必要が生じた。
- 事業地周辺で新たに宅地開発が進んだことを受け、騒音予測結果が保全目標を超過する箇所については、遮音壁及び排水性舗装を実施する必要が生じた。

1.安全性向上に向けた剥落防止対策の追加



2.沿道環境向上に向けた騒音対策の追加

■位置図



【開発前】

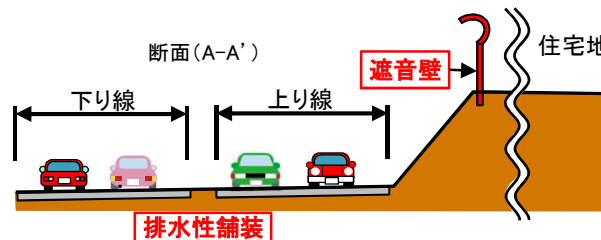


【開発後(平成28年5月)】



■騒音予測結果

西神地区	保全目標	騒音予測結果 (無対策)
昼間	60dB	63dB
夜間	55dB	58dB

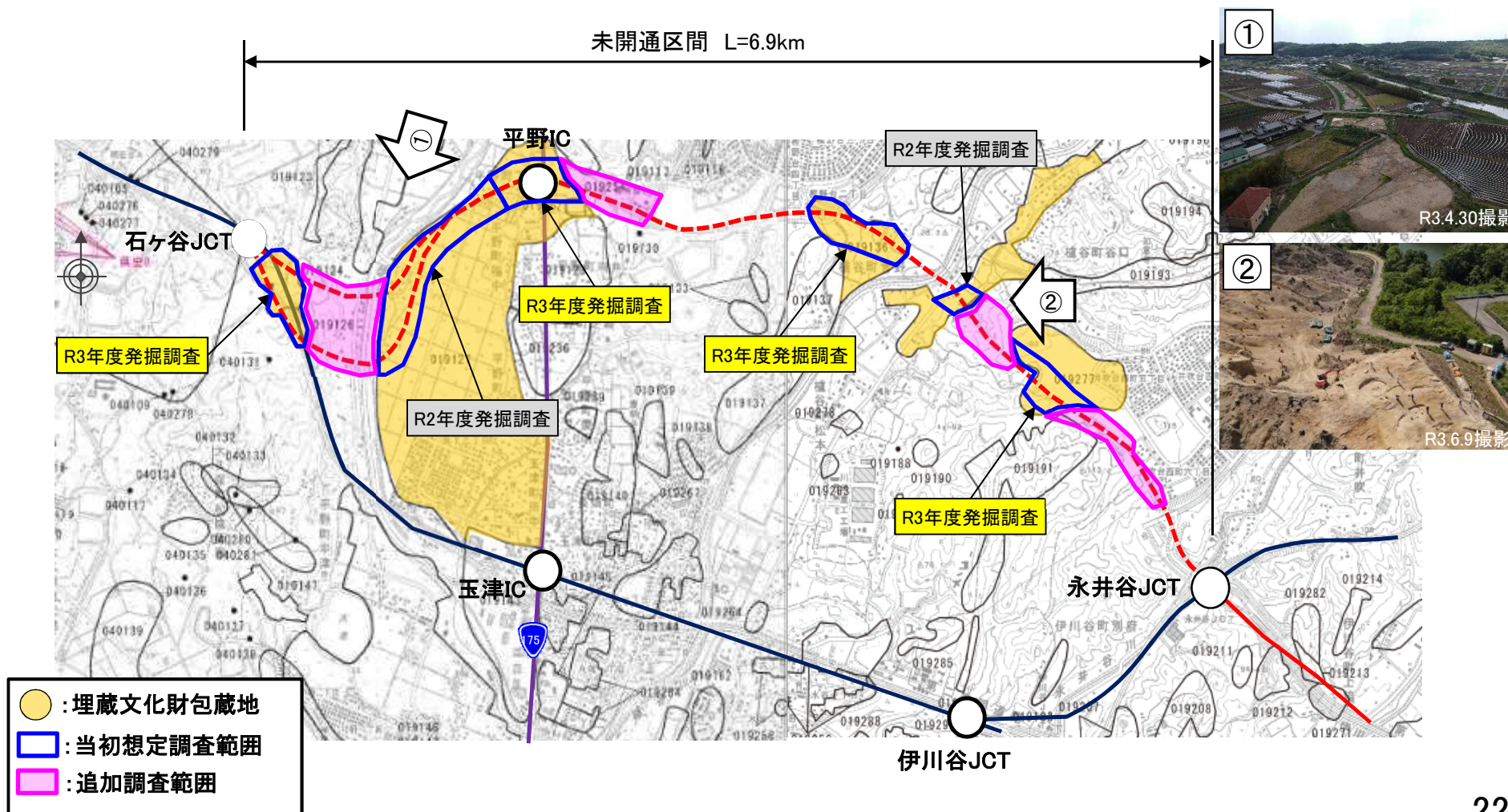


新たに宅地開発が進んだ地区については、騒音予測の結果、騒音対策として遮音壁の設置+排水性舗装を実施

【参考】(内訳④)事業費の見直し 一般国道2号 神戸西バイパス

④埋蔵文化財調査範囲の追加に伴う増加 (+10.2億円)

- 当初、埋蔵文化財包蔵地(兵庫県公表)をもとに埋蔵文化財調査範囲を想定し事業費を算出していた。
- 兵庫県教育委員会による包蔵地外の試掘の結果、当初想定していた調査範囲の近隣の箇所においても追加で調査をする必要が生じた。



【参考】(内訳)事業費の見直しの経緯

一般国道2号 神戸西バイパス

年度	①現地条件等を踏まえた 橋梁形式の見直し	②現地条件等を踏まえた 追加対策・工法変更	③安全性・沿道環境の向上に 向けた対策の追加	④埋蔵文化財調査範囲の追加
当初想定	<ul style="list-style-type: none"> 概略の設計であり、既存の地質調査データを元に支持地盤線を想定し橋梁設計をしていた。 H14の道路橋示方書でH17～H21頃に設計を行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 概略の設計であり、既存の地質調査データにより土質区分を想定し、対策工および地盤改良は不要であると判断し設計をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業地周辺での開発は進んでいない状況であった。 はく落防止対策について基準が定められていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 文献資料「兵庫県遺跡地図」(兵庫県公表)から埋蔵文化財発掘調査の範囲を想定していた。
H28	事業再評価(全体事業費 1,900億円)			
H29	H30.3公共事業と有料事業の合併施工方式の導入(永井谷JCT～石ヶ谷JCT)			
H30	一般部 L=1.0km(県道明石木見線～市道西神2号線) 開通H30.12			
R1	<ul style="list-style-type: none"> 追加地質調査が可能になり、当初想定していたよりも支持地盤が低いことが判明 	<ul style="list-style-type: none"> 追加地質調査が可能となり、当初想定していた地質と異なっている(礫質土が砂質土に変更)ことが判明 追加の地質調査結果から液状化の可能性のある砂質土層が確認 		
R2	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁詳細設計が完了 詳細設計において、直接基礎から杭基礎への変更が生じた。 道路橋示方書改訂に伴い、設計を見直すことにより、部材の変更など工事費の増額が生じた。 190.0億円の増額が確定 	<ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計が完了 詳細設計において、切土区間で法面補強工の追加が生じた。 詳細設計において、地盤改良の追加が生じた。 115.0億円の増額が確定 	<ul style="list-style-type: none"> 事業地周辺で新たに宅地開発が進み、騒音対策実施の必要が生じた。 基準改定(H28)に伴い、側道部、ランプ部および立体交差部において、コンクリート剥落防止対策の必要が生じた。 35.0億円の増額が確定 	
R3				<ul style="list-style-type: none"> 隣接箇所の追加調査を実施 工事着手に実施された試掘調査の結果、新たな遺跡が確認されたため、埋蔵文化財発掘調査範囲が拡大した。 10.2億円の増額が確定
	事業再評価 (全体事業費 2,250億円(+350億円) B/C 1.1)			



No. 8

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第5回

一般国道2号

こうべにし

神戸西バイパス

【再評価】

(計算結果等参考資料)

令和3年12月
近畿地方整備局
西日本高速道路株式会社

(再評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 神戸西バイパス
事業主体	近畿地方整備局 西日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.1 (経済的純現在価値 (B-C) = 417億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.3%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 3.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 1922億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 17.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 16094万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 548万人・時間/年 (40747万人・時間/年⇒40199万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について：一般国道2号 (第二神明道路) (市)舞子多間線 (市)永井谷線 (市)漆山多間線 (県)小部明石線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 322万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 6割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	三木市～新神戸駅 (山陽新幹線) (所要時間 : 62分→59分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	三木市～神戸空港 (第三種空港) (所要時間 : 63分→60分)
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	三木市～神戸港 (特定重要港湾) (所要時間 : 54分→51分)
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	神戸西バイパス
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	第5次神戸市基本計画 神戸2025ビジョン(神戸市)
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	王子動物園(年間観光客入り込み数:111万人/年 R1年)、須磨海浜水族園(年間観光客入り込み数:114万人/年 R1年)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全てのみに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保		<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三木市~兵庫県立災害医療センター (所要時間:57分→54分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	兵庫県地域防災計画（I期供用済区間L=5.6kmが第1次緊急輸送路に指定）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	第二神明道路（名谷JCT・IC～石ヶ谷JCT）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:19543.3t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道2号（第二神明道路）（市）舞子多聞線（市）永井谷線（市）漆山多聞線（県）小部明石線 排出削減量：111.38t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：102.04t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道2号（第二神明道路）（市）舞子多聞線（市）永井谷線（市）漆山多聞線（県）小部明石線 排出削減量：7.11t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：4.87t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	神戸西バイパス	L = 12.5km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
29,200	4車線	近畿地方整備局 西日本高速道路株式会社

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和3年度		
単純合計	2,147億円	617億円	2,764億円
うち残事業分	696億円	369億円	1,065億円
基準年における 現在価値 (C)	3,967億円	244億円	4,210億円
うち残事業分	635億円	147億円	782億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和3年度			
供用年	令和7年度			
単年便益 (初年便益)	246億円	18億円	3.1億円	267億円
基準年における 現在価値 (B)	4,260億円	315億円	53億円	4,628億円
うち残事業分	2,505億円	171億円	27億円	2,703億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	417億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.3%
費用便益比（残事業）	3.5
経済的純現在価値（残事業）	1,922億円
経済的内部収益率（残事業）	17.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	29,200台/日	±10%	0.9~1.4
事業費	2,147億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	37年	±20%	1.1~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	29,200台/日	±10%	2.7~4.4
事業費	696億円	±10%	3.2~3.8
事業期間	3年	±20%	3.4~3.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：神戸西バイパス（事業全体）

（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (12.5km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	39,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	10	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	74.19	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道2号(第二神明道路) (16.9km)	交通量	[台/日]	74,500	51,200
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	283.69	160.36
	(市)舞子多聞線 (3.4km)	交通量	[台/日]	13,800	9,800
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	23.72	16.20
	(市)永井谷線 (1.8km)	交通量	[台/日]	10,300	8,200
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	9.36	6.96
	(市)漆山多聞線 (0.9km)	交通量	[台/日]	40,500	29,500
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	49.74	28.24
	(県)小部明石線 (2.2km)	交通量	[台/日]	6,800	5,800
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	7.31	5.83
③その他道路合計 (7,269.7km)	走行時間費用	[億円/年]	24,731.92	24,570.68	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,307.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	25,105.73	24,862.43	243.30

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

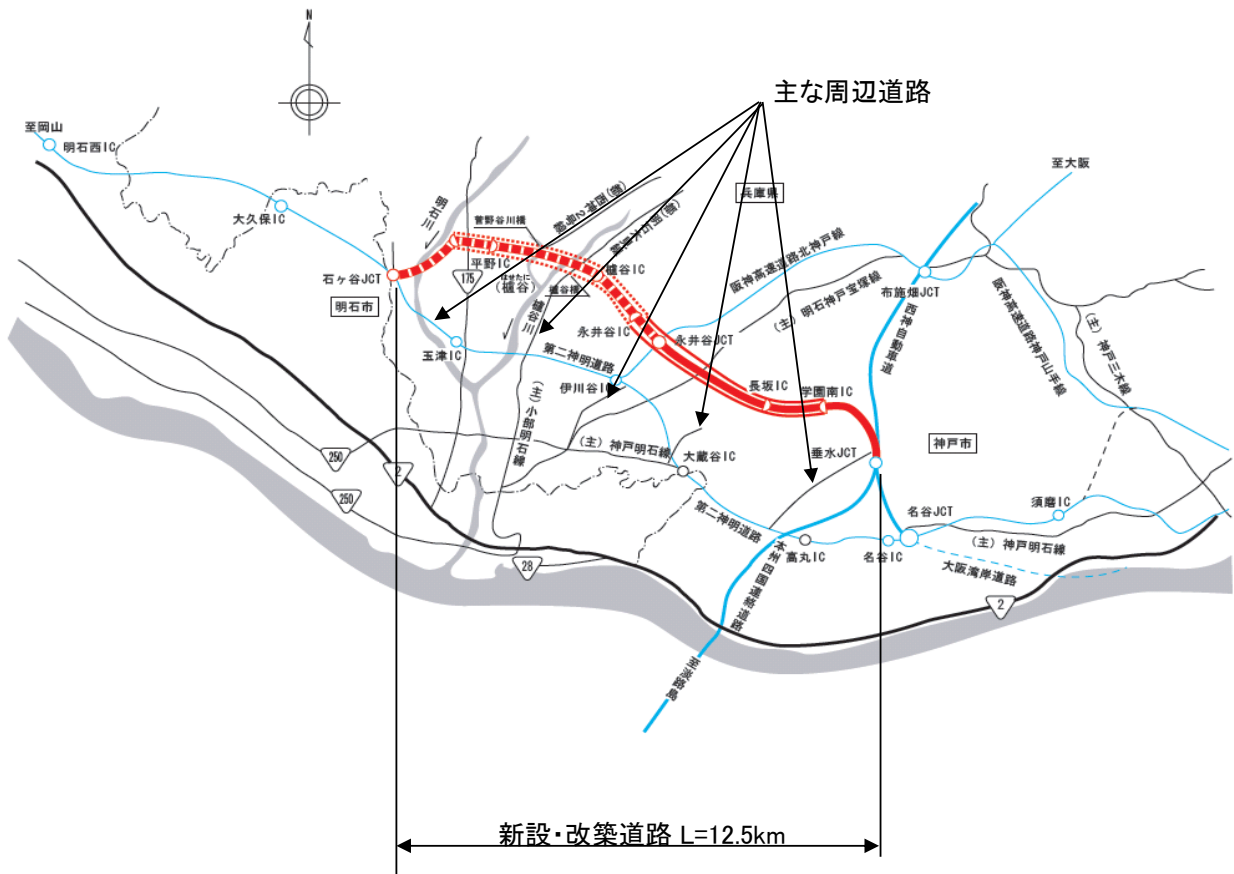
※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：神戸西バイパス（残事業）

（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (6.9km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	51,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	6	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	55.16	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道2号(第二神明道路) (16.9km)	交通量	[台/日]	72,800	51,200
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	280.61	160.36
	(市)舞子多聞線 (3.4km)	交通量	[台/日]	9,500	9,800
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	15.70	16.20
	(市)永井谷線 (1.8km)	交通量	[台/日]	9,800	8,200
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	8.77	6.96
	(市)漆山多聞線 (0.9km)	交通量	[台/日]	32,100	29,500
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	33.36	28.24
	(県)小部明石線 (2.2km)	交通量	[台/日]	6,300	5,800
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	6.44	5.83
③その他道路合計 (7,275.3km)	走行時間費用	[億円/年]	24,660.33	24,589.71	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,307.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	25,005.22	24,862.43	142.78

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

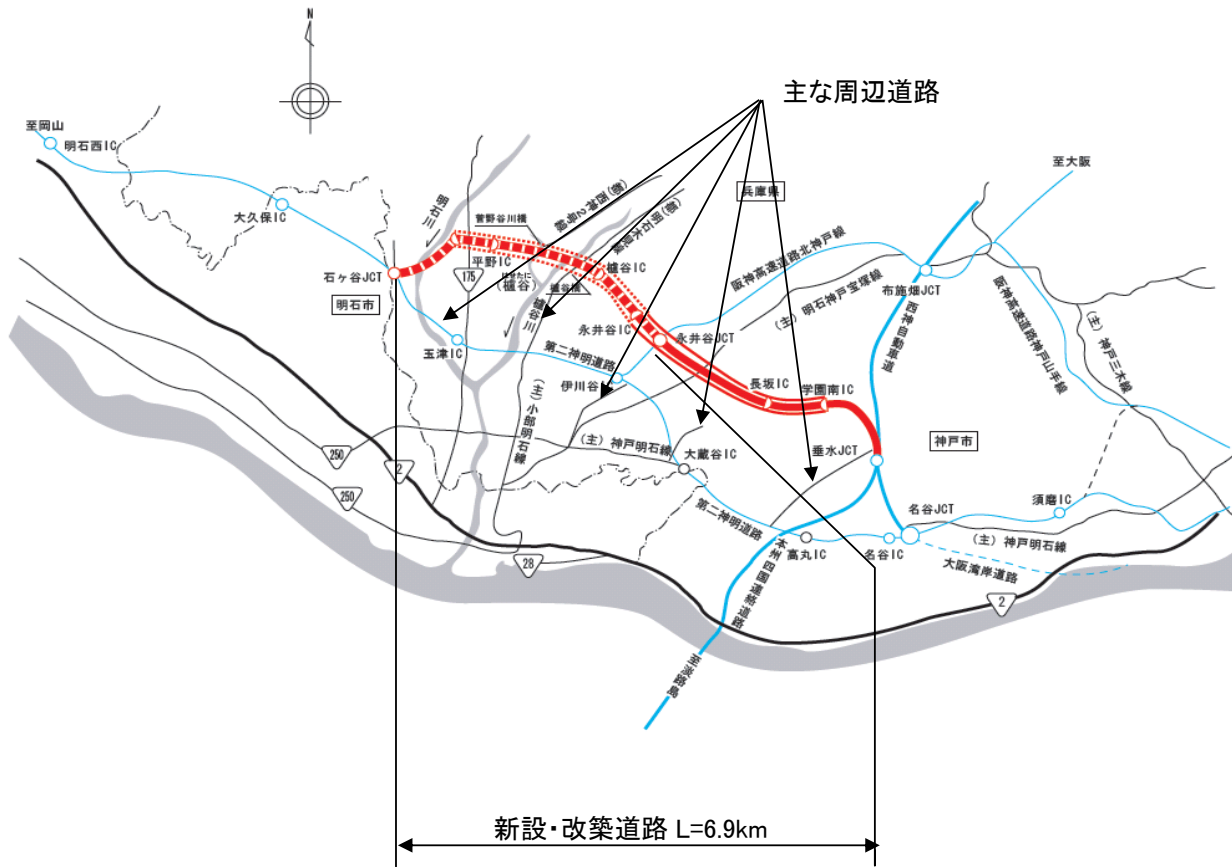
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：神戸西バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和3年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				1.09	12.5	13.57	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-37年目	S 63	3.6484	104.7	16.13	56.88		
-36年目	H 1	3.5081	107.5	10.07	33.26		
-35年目	H 2	3.3731	109.9	20.85	64.78		
-34年目	H 3	3.2434	112.5	34.72	101.26		
-33年目	H 4	3.1187	114.1	47.27	130.78		
-32年目	H 5	2.9987	114.4	172.13	456.56		
-31年目	H 6	2.8834	114.3	137.92	352.11		
-30年目	H 7	2.7725	113.7	349.85	863.33		
-29年目	H 8	2.6658	113.2	120.44	287.03		
-28年目	H 9	2.5633	114.2	217.15	493.26		
-27年目	H 10	2.4647	113.6	31.50	69.17		
-26年目	H 11	2.3699	112.0	21.17	45.34		
-25年目	H 12	2.2788	110.7	33.48	69.74		
-24年目	H 13	2.1911	109.4	32.49	65.84		
-23年目	H 14	2.1068	107.6	13.70	27.16		
-22年目	H 15	2.0258	106.1	13.82	26.70		
-21年目	H 16	1.9479	105.0	11.95	22.44		
-20年目	H 17	1.8730	103.7	11.43	20.89		
-19年目	H 18	1.8009	103.0	10.00	17.69		
-18年目	H 19	1.7317	102.1	9.55	16.40		
-17年目	H 20	1.6651	101.6	5.26	8.72		
-16年目	H 21	1.6010	100.3	6.21	10.03		
-15年目	H 22	1.5395	98.6	24.30	38.40		
-14年目	H 23	1.4802	97.2	0.95	1.47		
-13年目	H 24	1.4233	96.4	4.34	6.48		
-12年目	H 25	1.3686	96.4	1.51	2.18		
-11年目	H 26	1.3159	98.7	0.09	0.12		
-10年目	H 27	1.2653	100.2	0.09	0.12		
-9年目	H 28	1.2167	100.3	0.09	0.11		
-8年目	H 29	1.1699	100.5	0.93	1.09		
-7年目	H 30	1.1249	100.4	6.54	7.41		
-6年目	R 1	1.0816	101.2	11.55	12.49		
-5年目	R 2	1.0400	101.2	22.44	23.34		
-4年目	R 3	1.0000	101.2	51.86	51.86		
-3年目	R 4	0.9615	101.2	213.63	205.40		
-2年目	R 5	0.9246	101.2	173.36	160.29		
-1年目	R 6	0.8890	101.2	308.54	274.30		
供用開始年次	R 7	0.8548	101.2			13.57	11.60
1年目	R 8	0.8219	101.2			13.54	11.13
2年目	R 9	0.7903	101.2			13.52	10.69
3年目	R 10	0.7599	101.2			13.50	10.26
4年目	R 11	0.7307	101.2			13.48	9.85
5年目	R 12	0.7026	101.2			13.42	9.43
6年目	R 13	0.6756	101.2			13.37	9.03
7年目	R 14	0.6496	101.2			13.31	8.65
8年目	R 15	0.6246	101.2			13.26	8.28
9年目	R 16	0.6006	101.2			13.20	7.93
10年目	R 17	0.5775	101.2			13.15	7.59
11年目	R 18	0.5553	101.2			13.09	7.27
12年目	R 19	0.5339	101.2			13.04	6.96
13年目	R 20	0.5134	101.2			12.98	6.66
14年目	R 21	0.4936	101.2			12.93	6.38
15年目	R 22	0.4746	101.2			12.87	6.11
16年目	R 23	0.4564	101.2			12.82	5.85
17年目	R 24	0.4388	101.2			12.76	5.60
18年目	R 25	0.4220	101.2			12.70	5.36
19年目	R 26	0.4057	101.2			12.65	5.13
20年目	R 27	0.3901	101.2			12.59	4.91
21年目	R 28	0.3751	101.2			12.54	4.70
22年目	R 29	0.3607	101.2			12.48	4.50
23年目	R 30	0.3468	101.2			12.43	4.31
24年目	R 31	0.3335	101.2			12.37	4.13
25年目	R 32	0.3207	101.2			12.32	3.95
26年目	R 33	0.3083	101.2			12.26	3.78
27年目	R 34	0.2965	101.2			12.21	3.62
28年目	R 35	0.2851	101.2			12.15	3.46
29年目	R 36	0.2741	101.2			12.09	3.32
30年目	R 37	0.2636	101.2			12.04	3.17
31年目	R 38	0.2534	101.2			11.98	3.04
32年目	R 39	0.2437	101.2			11.93	2.91
33年目	R 40	0.2343	101.2			11.87	2.78
34年目	R 41	0.2253	101.2			11.82	2.66
35年目	R 42	0.2166	101.2			11.76	2.55
36年目	R 43	0.2083	101.2			11.71	2.44
37年目	R 44	0.2003	101.2			11.65	2.33
38年目	R 45	0.1926	101.2			11.60	2.23
39年目	R 46	0.1852	101.2			11.54	2.14
40年目	R 47	0.1780	101.2			11.49	2.04
41年目	R 48	0.1712	101.2			11.43	1.96
42年目	R 49	0.1646	101.2			11.37	1.87
43年目	R 50	0.1583	101.2			11.32	1.79
44年目	R 51	0.1522	101.2			11.26	1.71
45年目	R 52	0.1463	101.2			11.21	1.64
46年目	R 53	0.1407	101.2			11.15	1.57
47年目	R 54	0.1353	101.2			11.10	1.50
48年目	R 55	0.1301	101.2			11.04	1.44
49年目	R 56	0.1251	101.2	-460.26	-57.58	10.99	1.37
合計				1687.07	3966.85	616.86	243.58
単純事業費計				2147.33		616.86	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道2号 神戸西バイパス

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
1.18	6.9	8.12

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-3年目	R 4	0.9615	101.2	213.63	205.40		
-2年目	R 5	0.9246	101.2	173.36	160.29		
-1年目	R 6	0.8890	101.2	308.54	274.30		
供用開始年次	R 7	0.8548	101.2			8.27	7.07
1年目	R 8	0.8219	101.2			8.26	6.79
2年目	R 9	0.7903	101.2			8.24	6.51
3年目	R 10	0.7599	101.2			8.23	6.25
4年目	R 11	0.7307	101.2			8.21	6.00
5年目	R 12	0.7026	101.2			8.17	5.74
6年目	R 13	0.6756	101.2			8.13	5.49
7年目	R 14	0.6496	101.2			8.09	5.25
8年目	R 15	0.6246	101.2			8.05	5.03
9年目	R 16	0.6006	101.2			8.01	4.81
10年目	R 17	0.5775	101.2			7.97	4.60
11年目	R 18	0.5553	101.2			7.93	4.40
12年目	R 19	0.5339	101.2			7.89	4.21
13年目	R 20	0.5134	101.2			7.85	4.03
14年目	R 21	0.4936	101.2			7.81	3.85
15年目	R 22	0.4746	101.2			7.77	3.69
16年目	R 23	0.4564	101.2			7.73	3.53
17年目	R 24	0.4388	101.2			7.69	3.37
18年目	R 25	0.4220	101.2			7.65	3.23
19年目	R 26	0.4057	101.2			7.61	3.09
20年目	R 27	0.3901	101.2			7.57	2.95
21年目	R 28	0.3751	101.2			7.53	2.82
22年目	R 29	0.3607	101.2			7.49	2.70
23年目	R 30	0.3468	101.2			7.45	2.58
24年目	R 31	0.3335	101.2			7.41	2.47
25年目	R 32	0.3207	101.2			7.37	2.36
26年目	R 33	0.3083	101.2			7.33	2.26
27年目	R 34	0.2965	101.2			7.29	2.16
28年目	R 35	0.2851	101.2			7.25	2.07
29年目	R 36	0.2741	101.2			7.21	1.98
30年目	R 37	0.2636	101.2			7.17	1.89
31年目	R 38	0.2534	101.2			7.13	1.81
32年目	R 39	0.2437	101.2			7.09	1.73
33年目	R 40	0.2343	101.2			7.05	1.65
34年目	R 41	0.2253	101.2			7.01	1.58
35年目	R 42	0.2166	101.2			6.97	1.51
36年目	R 43	0.2083	101.2			6.93	1.44
37年目	R 44	0.2003	101.2			6.89	1.38
38年目	R 45	0.1926	101.2			6.85	1.32
39年目	R 46	0.1852	101.2			6.81	1.26
40年目	R 47	0.1780	101.2			6.77	1.20
41年目	R 48	0.1712	101.2			6.73	1.15
42年目	R 49	0.1646	101.2			6.69	1.10
43年目	R 50	0.1583	101.2			6.65	1.05
44年目	R 51	0.1522	101.2			6.61	1.01
45年目	R 52	0.1463	101.2			6.57	0.96
46年目	R 53	0.1407	101.2			6.53	0.92
47年目	R 54	0.1353	101.2			6.49	0.88
48年目	R 55	0.1301	101.2			6.45	0.84
49年目	R 56	0.1251	101.2	-41.94	-5.25	6.41	0.80
合計				653.59	634.74	369.15	146.77
単純事業費計				695.53		369.15	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道2号 神戸西バイパス

年次	年度 (基準年) R 3	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 7	0.99868	0.98440	1.00529	0.99726	0.8548	101.2	156.37	35.55	53.77	245.68	210.01	12.79	1.49	3.79	18.07	15.45	3.08	2.63	266.83	228.09
1年目	R 8	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.8219	101.2	156.16	34.99	54.05	245.20	201.53	12.77	1.47	3.81	18.05	14.84	3.07	2.53	266.33	218.89
2年目	R 9	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7903	101.2	155.95	34.44	54.34	244.73	193.41	12.76	1.44	3.83	18.03	14.25	3.06	2.42	265.82	210.08
3年目	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7599	101.2	155.75	33.88	54.62	244.25	185.61	12.74	1.42	3.85	18.01	13.69	3.06	2.32	265.32	201.61
4年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7307	101.2	155.54	33.33	54.91	243.78	178.13	12.72	1.40	3.87	17.99	13.15	3.05	2.23	264.81	193.50
5年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.7026	101.2	155.34	32.77	55.19	243.30	170.94	12.71	1.37	3.89	17.97	12.63	3.04	2.14	264.31	185.70
6年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6756	101.2	154.09	32.46	55.10	241.65	163.26	12.60	1.36	3.89	17.85	12.06	3.02	2.04	262.52	177.36
7年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6496	101.2	152.84	32.15	55.01	240.00	155.90	12.50	1.35	3.88	17.73	11.52	3.00	1.95	260.72	169.37
8年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6246	101.2	151.60	31.83	54.92	238.35	148.87	12.40	1.33	3.87	17.61	11.00	2.97	1.86	258.93	161.73
9年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.6006	101.2	150.35	31.52	54.83	236.70	142.16	12.30	1.32	3.87	17.48	10.50	2.95	1.77	257.14	154.44
10年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5775	101.2	149.10	31.20	54.74	235.05	135.74	12.20	1.31	3.86	17.36	10.03	2.93	1.69	255.35	147.46
11年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5553	101.2	147.86	30.89	54.66	233.40	129.61	12.09	1.29	3.85	17.24	9.57	2.91	1.62	253.56	140.80
12年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5339	101.2	146.61	30.58	54.57	231.76	123.73	11.99	1.28	3.85	17.12	9.14	2.89	1.54	251.76	134.42
13年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.5134	101.2	145.37	30.26	54.48	230.11	118.14	11.89	1.27	3.84	17.00	8.73	2.87	1.47	249.97	128.34
14年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4936	101.2	144.12	29.95	54.39	228.46	112.77	11.79	1.25	3.83	16.88	8.33	2.84	1.40	248.18	122.50
15年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4746	101.2	142.87	29.64	54.30	226.81	107.64	11.69	1.24	3.83	16.76	7.95	2.82	1.34	246.39	116.94
16年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4564	101.2	141.63	29.32	54.21	225.16	102.76	11.58	1.23	3.82	16.63	7.59	2.80	1.28	244.59	111.63
17年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4388	101.2	140.38	29.01	54.12	223.51	98.08	11.48	1.22	3.82	16.51	7.28	2.78	1.22	242.80	106.54
18年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4220	101.2	139.13	28.69	54.03	221.86	93.63	11.38	1.20	3.81	16.39	6.92	2.76	1.16	241.01	101.71
19年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.4057	101.2	137.89	28.38	53.94	220.21	89.34	11.28	1.19	3.80	16.27	6.60	2.74	1.11	239.22	97.05
20年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3901	101.2	136.64	28.07	53.85	218.56	85.26	11.18	1.18	3.80	16.15	6.30	2.71	1.06	237.43	92.62
21年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3751	101.2	135.40	27.75	53.76	216.91	81.36	11.07	1.16	3.79	16.03	6.01	2.69	1.01	235.63	88.39
22年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3607	101.2	134.15	27.44	53.68	215.26	77.65	10.97	1.15	3.78	15.91	5.74	2.67	0.96	233.84	84.35
23年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3468	101.2	132.90	27.13	53.59	213.61	74.08	10.87	1.14	3.78	15.79	5.47	2.65	0.92	232.05	80.47
24年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3335	101.2	131.66	26.81	53.50	211.97	70.69	10.77	1.12	3.77	15.66	5.22	2.63	0.88	230.26	76.79
25年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3207	101.2	130.41	26.50	53.41	210.32	67.45	10.67	1.11	3.77	15.54	4.98	2.61	0.84	228.46	73.27
26年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.3083	101.2	129.17	26.18	53.32	208.67	64.33	10.56	1.10	3.76	15.42	4.75	2.58	0.80	226.67	69.88
27年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2965	101.2	127.92	25.87	53.23	207.02	61.38	10.46	1.08	3.75	15.30	4.54	2.56	0.76	224.88	66.68
28年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2851	101.2	126.67	25.56	53.14	205.37	58.55	10.36	1.07	3.75	15.18	4.33	2.54	0.72	223.09	63.60
29年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2741	101.2	125.43	25.24	53.05	203.72	55.84	10.26	1.06	3.74	15.06	4.13	2.52	0.69	221.30	60.66
30年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2636	101.2	124.18	24.93	52.96	202.07	53.27	10.16	1.04	3.73	14.94	3.94	2.50	0.66	219.50	57.86
31年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2534	101.2	122.93	24.61	52.87	200.42	50.79	10.05	1.03	3.73	14.81	3.75	2.48	0.63	217.71	55.17
32年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2437	101.2	121.69	24.30	52.78	198.77	48.44	9.95	1.02	3.72	14.69	3.58	2.45	0.60	215.92	52.62
33年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2343	101.2	120.44	23.99	52.69	197.12	46.19	9.85	1.01	3.72	14.57	3.41	2.43	0.57	214.13	50.17
34年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2253	101.2	119.20	23.67	52.61	195.47	44.04	9.75	0.99	3.71	14.45	3.26	2.41	0.54	212.34	47.84
35年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2166	101.2	117.95	23.36	52.52	193.83	41.98	9.65	0.98	3.70	14.33	3.10	2.39	0.52	210.54	45.60
36年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2083	101.2	116.70	23.05	52.43	192.18	40.03	9.55	0.97	3.70	14.21	2.96	2.37	0.49	208.75	43.48
37年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.2003	101.2	115.46	22.73	52.34	190.53	38.16	9.44	0.95	3.69	14.09	2.82	2.35	0.47	206.96	41.45
38年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1926	101.2	114.21	22.42	52.25	188.88	36.38	9.34	0.94	3.68	13.96	2.69	2.32	0.45	205.17	39.52
39年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1852	101.2	112.96	22.10	52.16	187.23	34.67	9.24	0.93	3.68	13.84	2.56	2.30	0.43	203.37	37.66
40年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1780	101.2	111.72	21.79	52.07	185.58	33.03	9.14	0.91	3.67	13.72	2.44	2.28	0.41	201.58	35.88
41年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1712	101.2	110.47	21.48	51.98	183.93	31.49	9.04	0.90	3.67	13.60	2.33	2.26	0.39	199.79	34.20
42年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1646	101.2	109.23	21.16	51.89	182.28	30.00	8.93	0.89	3.66	13.48	2.22	2.24	0.37	198.00	32.59
43年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1583	101.2	107.98	20.85	51.80	180.63	28.59	8.83	0.87	3.65	13.36	2.11	2.22	0.35	196.21	31.06
44年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1522	101.2	106.73	20.54	51.71	178.98	27.24	8.73	0.86	3.65	13.24	2.01	2.19	0.33	194.41	29.59
45年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1463	101.2	105.49	20.22	51.63	177.33	25.94	8.63	0.85	3.64	13.12	1.92	2.17	0.32	192.62	28.18
46年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1407	101.2	104.24	19.91	51.54	175.68	24.72	8.53	0.83	3.63	12.99	1.83	2.15	0.30	190.83	26.85
47年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1353	101.2	102.99	19.59	51.45	174.04	23.55	8.42	0.82	3.63	12.87	1.74	2.13	0.29	189.04	25.58
48年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1301	101.2	101.75	19.28	51.36	172.39	22.43	8.32	0.81	3.62	12.75	1.66	2.11	0.27	187.24	24.36
49年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1251	101.2	100.50	18.97	51.27	170.74	21.36	8.22	0.79	3.61	12.63	1.58	2.09	0.26	185.45	23.20
合計								6,536.12	1,336.33	2,667.01	10,539.46	4,260.16	534.60	55.99	188.05	778.65	314.57	130.63	52.99	11,448.74	4,627.73</

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道2号 神戸西バイパス

年次	年度 (基準年) R 3	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	R 7	0.99868	0.98440	1.00529	0.99726	0.8548	101.2	88.27	21.04	34.78	144.09	123.16	6.66	0.74	2.38	9.78	8.36	1.58	1.35	155.45	132.88
1年目	R 8	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.8219	101.2	88.15	20.71	34.96	143.82	118.21	6.65	0.73	2.40	9.77	8.03	1.58	1.30	155.18	127.54
2年目	R 9	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7903	101.2	88.03	20.38	35.15	143.56	113.46	6.65	0.71	2.41	9.77	7.72	1.57	1.24	154.91	122.42
3年目	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7599	101.2	87.92	20.05	35.33	143.30	108.90	6.64	0.70	2.42	9.76	7.42	1.57	1.19	154.63	117.51
4年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7307	101.2	87.80	19.73	35.52	143.04	104.52	6.63	0.69	2.43	9.75	7.13	1.57	1.14	154.36	112.79
5年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.7026	101.2	87.68	19.40	35.70	142.78	100.32	6.62	0.68	2.45	9.74	6.85	1.56	1.10	154.09	108.26
6年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6756	101.2	86.98	19.21	35.64	141.84	95.82	6.57	0.67	2.44	9.68	6.54	1.55	1.05	153.07	103.41
7年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6496	101.2	86.28	19.03	35.59	140.89	91.52	6.51	0.67	2.44	9.62	6.25	1.54	1.00	152.04	98.77
8年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6246	101.2	85.57	18.84	35.53	139.94	87.41	6.46	0.66	2.43	9.55	5.97	1.53	0.95	151.02	94.33
9年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.6006	101.2	84.87	18.65	35.47	139.00	83.48	6.41	0.65	2.43	9.49	5.70	1.52	0.91	150.00	90.09
10年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5775	101.2	84.17	18.47	35.41	138.05	79.72	6.35	0.65	2.43	9.43	5.44	1.51	0.87	148.98	86.04
11年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5553	101.2	83.46	18.28	35.35	137.10	76.13	6.30	0.64	2.42	9.36	5.20	1.49	0.83	147.96	82.16
12年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5339	101.2	82.76	18.10	35.30	136.15	72.69	6.25	0.63	2.42	9.30	4.96	1.48	0.79	146.94	78.45
13年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.5134	101.2	82.06	17.91	35.24	135.21	69.42	6.19	0.63	2.41	9.24	4.74	1.47	0.76	145.92	74.91
14年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4936	101.2	81.35	17.73	35.18	134.26	66.27	6.14	0.62	2.41	9.17	4.53	1.46	0.72	144.89	71.52
15年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4746	101.2	80.65	17.54	35.12	133.31	63.27	6.09	0.61	2.41	9.11	4.32	1.45	0.69	143.87	68.28
16年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4564	101.2	79.95	17.35	35.07	132.37	60.41	6.03	0.61	2.40	9.04	4.13	1.44	0.66	142.85	65.20
17年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4388	101.2	79.24	17.17	35.01	131.42	57.67	5.98	0.60	2.40	8.98	3.94	1.43	0.63	141.83	62.23
18年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4220	101.2	78.54	16.98	34.95	130.47	55.06	5.93	0.59	2.39	8.92	3.76	1.42	0.60	140.81	59.42
19年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.4057	101.2	77.84	16.80	34.89	129.53	52.55	5.88	0.59	2.39	8.85	3.59	1.41	0.57	139.79	56.71
20年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3901	101.2	77.13	16.61	34.84	128.58	50.16	5.82	0.58	2.39	8.79	3.43	1.39	0.54	138.76	54.13
21年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3751	101.2	76.43	16.43	34.78	127.63	47.88	5.77	0.58	2.38	8.73	3.27	1.38	0.52	137.74	51.67
22年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3607	101.2	75.73	16.24	34.72	126.69	45.70	5.72	0.57	2.38	8.66	3.12	1.37	0.49	136.72	49.32
23年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3468	101.2	75.02	16.05	34.66	125.74	43.61	5.66	0.56	2.37	8.60	2.98	1.36	0.47	135.70	47.06
24年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3335	101.2	74.32	15.87	34.61	124.79	41.62	5.61	0.56	2.37	8.54	2.85	1.35	0.45	134.68	44.92
25年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3207	101.2	73.62	15.68	34.55	123.85	39.72	5.56	0.55	2.37	8.47	2.72	1.34	0.43	133.66	42.86
26年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.3083	101.2	72.91	15.50	34.49	122.90	37.89	5.50	0.54	2.36	8.41	2.59	1.33	0.41	132.64	40.89
27年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2965	101.2	72.21	15.31	34.43	121.95	36.16	5.45	0.54	2.36	8.35	2.47	1.32	0.39	131.61	39.02
28年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2851	101.2	71.50	15.13	34.37	121.01	34.50	5.40	0.53	2.35	8.28	2.36	1.31	0.37	130.59	37.23
29年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2741	101.2	70.80	14.94	34.32	120.06	32.91	5.34	0.52	2.35	8.22	2.25	1.29	0.35	129.57	35.52
30年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2636	101.2	70.10	14.75	34.26	119.11	31.40	5.29	0.52	2.35	8.15	2.15	1.28	0.34	128.55	33.89
31年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2534	101.2	69.39	14.57	34.20	118.16	29.94	5.24	0.51	2.34	8.09	2.05	1.27	0.32	127.53	32.32
32年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2437	101.2	68.69	14.38	34.14	117.22	28.57	5.19	0.50	2.34	8.03	1.96	1.26	0.31	126.51	30.83
33年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2343	101.2	67.99	14.20	34.09	116.27	27.24	5.13	0.50	2.34	7.96	1.87	1.25	0.29	125.48	29.40
34年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2253	101.2	67.28	14.01	34.03	115.32	25.98	5.08	0.49	2.33	7.90	1.78	1.24	0.28	124.46	28.04
35年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2166	101.2	66.58	13.83	33.97	114.38	24.77	5.03	0.48	2.33	7.84	1.70	1.23	0.27	123.44	26.74
36年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2083	101.2	65.88	13.64	33.91	113.43	23.63	4.97	0.48	2.32	7.77	1.62	1.22	0.25	122.42	25.50
37年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.2003	101.2	65.17	13.45	33.86	112.48	22.53	4.92	0.47	2.32	7.71	1.54	1.20	0.24	121.40	24.32
38年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1926	101.2	64.47	13.27	33.80	111.54	21.48	4.87	0.46	2.32	7.65	1.47	1.19	0.23	120.38	23.18
39年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1852	101.2	63.77	13.08	33.74	110.59	20.48	4.81	0.46	2.31	7.58	1.40	1.18	0.22	119.36	22.10
40年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1780	101.2	63.06	12.90	33.68	109.64	19.52	4.76	0.45	2.31	7.52	1.34	1.17	0.21	118.33	21.06
41年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1712	101.2	62.36	12.71	33.63	108.70	18.61	4.71	0.45	2.30	7.46	1.28	1.16	0.20	117.31	20.08
42年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1646	101.2	61.66	12.53	33.57	107.75	17.74	4.65	0.44	2.30	7.39	1.22	1.15	0.19	116.29	19.14
43年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1583	101.2	60.95	12.34	33.51	106.80	16.91	4.60	0.43	2.30	7.33	1.16	1.14	0.18	115.27	18.25
44年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1522	101.2	60.25	12.15	33.45	105.86	16.11	4.55	0.43	2.29	7.27	1.11	1.13	0.17	114.25	17.39
45年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1463	101.2	59.55	11.97	33.39	104.91	15.35	4.49	0.42	2.29	7.20	1.05	1.12	0.16	113.23	16.57
46年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1407	101.2	58.84	11.78	33.34	103.96	14.63	4.44	0.41	2.28	7.14	1.00	1.10	0.16	112.20	15.79
47年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1353	101.2	58.14	11.60	33.28	103.02	13.94	4.39	0.41	2.28	7.07	0.96	1.09	0.15	111.18	15.04
48年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1301	101.2	57.44	11.41	33.22	102.07	13.28	4.34	0.40	2.28	7.01	0.91	1.08	0.14	110.16	14.33
49年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1251	101.2	56.73	11.23	33.16	101.12	12.65	4.28	0.39	2.27	6.95	0.87	1.07	0.13	109.14	13.65
合計								3,689.54	790.93	1,725.20	6,205.67	2,504.88	278.50	27.70	118.19	424.39	171.07	67.10	27.22	6,697.16	2,703.16

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	神戸西バイパス	専用部:4車線 一般部:2車線	専用部:12.5km 一般部:8.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				134,217	
	改良費				51,929	
		土工	m ³	6,902,000	20,686	切土(3,898千m ³)、盛土(1,134千m ³)、捨土(1,870千m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	1,203	地盤改良工
		法面工	m ²	310,000	11,773	吹付法砕工、鉄筋挿入工
		擁壁工	式	1	3,881	
		管渠工	m			
		函渠工	m	1,750	1,553	
		排水工	m	113,000	1,435	
		中央分離帯工	m	9,774	530	
		雑工	式	1	10,868	
	橋梁費				58,773	
		橋梁	m	9,790	58,773	
	トンネル費				14,885	
		NATM	m	2,480	14,885	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				4,070	
		車道舗装	m ²	429,000	3,908	
		歩道舗装	m ²	42,000	162	
	付帯施設費				4,560	
		付帯工事費	式	1	2,394	防護柵工等
		その他	式	1	2,166	遮音壁
②	用地及補償費				63,691	
	用地費		m ²	1,348,000	46,026	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²	23,100	1,326	
		山林・原野	m ²	107,600	6,284	
		その他	m ²	1,217,300	38,416	
	補償費		式	1	17,665	
③	間接経費		式	1	27,092	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				225,000	

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	神戸西バイパス	専用部:4車線 一般部:2車線	専用部:12.5km 一般部:8.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.5	-	
修繕費	式	1	-	
その他	式			
維持管理費合計			67,850	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費並びに、NEXCO西日本における維持管理費の算出方法に従って算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	神戸西バイパス	専用部:4車線 一般部:2車線	専用部:6.9km 一般部:3.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				71,091	
	改良費				29,397	
		土工	m ³	4,486,300	13,077	切土(2,533千m ³)、盛土(737千m ³)、捨土(1,216千m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	1,568	
		法面工	m ²	118,000	4,481	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,343	
		管渠工	m			
		函渠工	m	1,225	1,087	
		排水工	m	79,100	1,005	
		中央分離帯工	m	5,794	314	
		雑工	式	1	5,522	
	橋梁費				35,481	
		橋梁	m	4,723	35,481	
	トンネル費					
		NATM	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,994	
		車道舗装	m ²	214,500	1,954	
		歩道舗装	m ²	10,396	40	
	付帯施設費				4,219	
		付帯工事費	式	1	2,215	防護柵工等
		その他	式	1	2,004	遮音壁
②	用地及補償費				2,275	
	用地費		m ²	95,223	2,134	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²	1,638	94	
		山林・原野	m ²	7,603	444	
		その他	m ²	85,982	1,596	
	補償費		式	1	141	
③	間接経費		式	1	2,929	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				76,295	

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	神戸西バイパス	専用部:4車線 一般部:2車線	専用部:6.9km 一般部:3.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.9	-	
修繕費	式	1	-	
その他	式			
維持管理費合計			40,600	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費並びに、NEXCO西日本における維持管理費の算出方法に従って算出。

国近整企画第90号
令和3年11月22日

神戸市長 殿

近畿地方整備局長
(公印省略)

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和3年12月14日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和3年12月6日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号神戸西バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

神建湾推第 82 号

令和 3 年 12 月 2 日

近畿地方整備局長 殿

神戸市長 久 元 喜 造

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案) の作成に係る意見照会について (回答)

令和 3 年 11 月 22 日付国近整企画第 90 号で依頼のありました標記について、下記のとおり回答します。

記

1. 回答

- (1) 一般国道 2 号神戸西バイパスについての意見
別紙のとおり

担当：神戸市建設局湾岸・広域幹線道路本部推進課

電話 078-595-6441

FAX 078-595-6409

(別紙)

一般国道 2 号神戸西バイパスは、交通混雑が著しい神戸市西部地域や、第二神明道路で慢性的に発生している渋滞の緩和に繋がり、緊急時、災害時の迂回路としての機能を果たすと共に、播磨から神戸・大阪までのネットワークが構築されることによる、物流機能の強化、観光周遊の促進、市民生活の向上などに資する効果の高い事業です。

平成 30 年 3 月には、神戸西バイパスの自動車専用部に西日本高速道路株式会社による有料道路事業が導入され、早期整備のための事業スキームが整いました。神戸西バイパスの早期完成・整備効果の早期発現に向けて、引き続き有料道路制度を活用しながら事業を継続することが必要と考えます。